

授業計画（シラバス）

氏名 根本 泰行 他

授業科目の名称	波動医学		
配当年次	1年次	配当学期	前期
年間開講数	1回	単位数	2単位
必修・選択の別	必修	授業の方法	講義

授業形態 : 講義

目標と授業内容: 従来の医学においては、酵素や代謝産物、遺伝子やタンパク質、神経のネットワークや各種ホルモンによる作用など、主として目に見える「物質」を対象として、仕組みの解明や疾病の治療に取り組んできている。しかしながら、生命活動においては、目に見えない「エネルギー」と「情報」が、「物質」と同等以上に重要な役割を果たしていることが、明らかになってきている。

 これからの医学においては、物質・エネルギー・情報の三位一体として、身体を捉えていくことが決定的に重要であり、「エネルギー」と「情報」は「波動」という言葉で置き換えることができる。すなわち従来の「物質医学」に加えて、「波動医学」を学ぶことこそが急務である。

 当講義では「波動医学」について、基礎と応用の両面から、最先端の情報をお伝えする。

学習評価 : レポートによる。

- 第1回 波動医学とは？
- 第2回 波動医学と「新しい水の科学」
- 第3回 乱数発生器に対する意識の作用
- 第4回 ルパート・シェルドレイクの形態場の理論
- 第5回 リチャード・ガーバー著「バイブレショナル・メディスン」の解説
- 第6回 ジェームズ・オシュマンの「生体マトリックス」という概念について
- 第7回 東洋におけるエネルギー医学としての「チベット医学」
- 第8回 波動デバイスに関する概論
- 第9回 波動デバイスを使った理論と実践（1）
- 第10回 波動デバイスを使った理論と実践（2）
- 第11回 波動デバイスを使った理論と実践（3）
- 第12回 波動デバイスを使った理論と実践（4）
- 第13回 量子医学の概論と応用（1）
- 第14回 量子医学の概論と応用（2）
- 第15回 波動医学に関する総括と質疑応答

参考図書

リチャード・ガーバー 著，上野圭一&真鍋太史郎 訳、『バイブレショナル・メディスン』、日本教文社
 ジェラルド・ポラック 著，根本泰行 監修、『第4の水の相』、ナチュラルスピリット社